

2012年2月13日

各位

ガイアホールディングス株式会社
(コード番号:3727 東証マザーズ)

ガイアホールディングス：2011年12月期通期連結業績を発表
売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前期から大幅に増加
～ 総合エンターテインメント事業と半導体事業で来期も増収増益へ ～

ガイアホールディングス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:郡山龍、以下「ガイアホールディングス」)は本日、2011年12月期の通期連結業績を発表し、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前期から大幅に増加し、売上高は前期比11.2%増の105億2百万円、営業利益は同97.2%増の4億16百万円、経常利益は同135.6%増の3億84百万円、当期純利益は同53.2%増の5億10百万円であることを発表しました。

個別業績につきましては、中核事業であるソフトウェア基盤技術事業の国内市場においては従来からのスマートフォン対応製品である emblend™の拡張や、弊社主力製品のひとつである JBlend™が従来端末に加え Android 向けにも出荷が始まるなど堅調な伸びを示しました。海外市場においては大手携帯電話メーカーの従来端末への JBlend の搭載数が引き続き強い需要を保ち、前期と比較して海外市場での搭載数が増加しました。

コンテンツ・サービス等事業においては、急速に市場が拡大している SNS 向けソーシャルゲームの開発体制強化により、前期比2倍の新作ゲームの市場投入や従来端末での人気ソーシャルゲーム「天空のスカイガレオン」などのスマートフォン向け提供とともに、急拡大しているスマートフォン市場向けに配信を開始した「空気読み。」などが業績拡大に貢献しました。また当期、新たに当社グループの一員となった株式会社アニメインターナショナルカンパニーによるアニメーション制作事業においては、劇場版「それのおとしもの」が人気を博すとともに、原作ゲーム同様「ペルソナ4」などのアニメ制作が売上に貢献しました。

ガイアホールディングスでは、今後も競争力のあるソフトウェア技術を事業の成長ドライバーとし、年商約50億円にまで育ったゲーム事業とアニメやコミックなどの新たな事業が呼応しマーチャндаイジングまで含めた総合エンターテインメント事業へ発展させてまいります。さらに海外での事業を拡大している当社グループ会社の力を得てグローバル展開を促進するとともに、創業以来四半世紀以上にもわたり培われてきた国際的に利用されている組み込みソフトウェアの技術に基づく通信用半導体事業を立ち上げてまいります。

これらの新たな取り組みにより、中期経営計画に定めた2013年12月期目標(売上高150億円、営業利益17億円)に向けて事業展開を加速化してまいります。なお、2012年12月期の業績予想数値は昨今の極度に高い為替レートを考慮し、前期を上回るものの保守的な売上高110億円、営業利益5億円を見込んでおりますが、中期経営計画の最終目標である2013年12月期目標は据え置いています。

以上

■ ガイアホールディングス株式会社について

ガイアホールディングスは、全世界の地域毎の特性を捉えた多様なグローバルビジネスを展開するため、グループ一体となった経営体制で企業価値の向上を図ることを目的として誕生しました。グループ企業には、株式会社アプリックス、株式会社ジー・モード、株式会社アニメインターナショナルカンパニー、iaSolution Inc. などがあり、各社が提供するゲームやアニメーション等のコンテンツ・サービスと、それらのコンテンツ・サービスを快適にご利用いただくための技術、品質、先進的基盤を提供すること、それがガイアグループの

目指すものです。

コーポレートサイト:<http://www.gaia-hd.com/>

- 本件に関するお問い合わせ先
ガイアホールディングス株式会社 IR 担当
Tel:03-5286-8436

※ 上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は状況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

※ JBlend、emblendならびにJBlendに関連する商標およびロゴは、日本およびその他の国におけるアプリックス又は関連会社の商標または登録商標です。

※ 記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。